

1.化学物質及び会社情報

昭和化学株式会社
東京都中央区日本橋本町4-3-8
担当
TEL(03)3270-2701
FAX(03)3270-2720
緊急連絡 同上
改訂 平成18年7月4日

化学物質等のコード : 1307-3748

化学物質等の名称 : マンガン(粉末)

2.危険有害性の要約

分類の名称 : 有害性物質
危険性 : 空気中で加熱すると燃焼することがある。
粉塵状態では粉塵爆発を起こすことがある。
有害性 : 粉塵を長期間吸入すると、頭痛、不眠、関節の痛みなどを
起こし、中枢神経に影響を与え、仮面様顔貌、パーキンソン
病様症状を起こす。
環境影響 : データなし

3.組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 単一製品
化学名 : マンガン
成分及び含有量 : マンガン 99.9%
化学式又は構造式 : Mn
官報公示整理番号 化審法 : 対象外
安衛法 : -
CAS No. : 7439-96-5

4.応急処置

目に入った場合 : 直ちに流水で十分に洗い流す。
皮膚に付いた場合 : 直ちに付着部を多量の水で十分に洗い流す。
吸入した場合 : 直ちに患者を毛布などにくるんで安静にさせ、新鮮な空気の
場所に移す。鼻をかませ、うがいをさせる。
飲み込んだ場合 : 水または食塩水を飲ませて吐かせる。
必要に応じて医師の処置を受ける。

5.火災時の処置

消火方法 :
(周辺火災の場合) 速やかに容器を安全な場所に移す。
移動不可能な場合は、容器および周囲に散水して冷却する。
(着火した場合) 初期の火災には、水、粉末、二酸化炭素を用いる。
更に必要があれば、泡消火器を用いる。
消火作業の際には必ず保護具を着用する。
消火剤 : 粉末、二酸化炭素、泡、水

6.漏出時の措置

飛散した場所の周辺にはロ-プを張るなどして人の立入りを
禁止する。作業の際には必ず保護具を着用する。風下で作業を
しない。飛散したものは、できるだけ掃き集めて、空容器に回収し、
そのあとを多量の水を用いて洗い流す。
この場合、濃厚な排液が河川などに排出されないように注意する。

7.取扱いおよび保管上の注意

取扱い : 皮膚に付いたり、粉塵を吸入しないように適切な保護具を
着用する。
保管 : 密栓して冷暗所に保管する。

8.暴露防止及び保護措置

管理濃度 : 1mg/m3
許容濃度 : 日本産業衛生学会 :
0.3mg/m3(吸入性粉塵、Mnとして)
(1994年度版)
ACGIH : 1mg/m3(ヒュームとして)

公害と毒・危険物(総論編、無機編、有機編) 三共出版
化学物質の危険・有害性便覧 労働省安全衛生部監修
中央労働災害防止協会編

このデータは作成の時点においての知見によるものですがかならずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意して下さい。